

令和6年度 第1回 大府市文化財保護審議会会議録

日 時：令和6年5月25日（土）

午後1時30分～午後3時

場 所：歴史民俗資料館 会議室2

[出席者]（委 員）伊藤啓信、舘内三郎、中井良岳、小早川道子、西尾一、池田ちか、
武部真木、小野幸恵

（事務局）岡村市長、近藤部長、田中課長、近藤館長、鷹羽、塚野、水谷、内藤

[欠席者]（委 員）花井しおり、見田隆鑑

[傍聴者] 0名

1. 開 会

2. 委嘱状の交付

3. 市長あいさつ

4. 委員自己紹介

5. 会長・副会長の選任について

会長に伊藤委員、副会長に西尾委員を選任

6. 議題

（1）令和5年度事業実績報告

歴史民俗資料館事業実績

文化財保護事業実績

市指定文化財 木造薬師如来立像（普門寺）修理について

入館者数

事務局より一括説明

委員）木造薬師如来立像については、修理を通して安定した状態での保存が可能になった。修理後の5月30日に仏像バーチャルミュージアムの撮影を予定している。（欠席委員からのコメントを事務局説明）

委員）濱島吉昭家資料は調査後、どうなっているのか。

事務局）市で活用が難しいものは濱島家に返却した。古文書、濱島月濤に関する資料等については、日本福祉大学知多半島総合研究所の協力の下、引き続き調査整理中である。

委員）濱島吉昭家資料とは？

委員）教員をされ、大府市誌、豊明市誌の編さんに携わった方が生前に集めた資料である。

（2）令和6年度事業計画

歴史民俗資料館事業計画

文化財保護事業計画

事務局より一括説明

委員) メタバースを見てみたが、バイオリン工房などを過去に戻って見ることができ興味深いものであった。どんな年齢の方でも手軽に気軽に利用できるよう、さらなる工夫を期待したい。

事務局) メタバース講座について検討していく。

市指定文化財 吉川獅子屋形の修理(2年目)について

事務局より修理詳細について説明。指定文化財の範囲に太鼓を含めてよいか。

委員) 太鼓は現存するのか。太鼓を使ったお囃子が現在も伝承されているか。

事務局) 古くからの太鼓や伝承されたお囃子は見つかっていない。

委員) 祭礼に使われる太鼓は消耗品であり、太鼓そのものを文化財として指定することは難しいのではないか。

会長) 修理にかかる大府市の補助金について、太鼓の購入経費は補助対象外とすることでよいか。

委員) 異議なし。

大府市文化財保護審議会活動予定

知多地方文化財保護委員会について

事務局より一括説明

県外視察研修先については、会長に相談して選定し、各委員に通知することとした。

(3) 市指定文化財候補について

■吉川熊野神社旧拝殿

事務局) 指定に向けて、6年度に予備調査、7年度に専門家に所見執筆を依頼したい。

吉川熊野神社旧拝殿は棟札や大正時代に出された『知多郡神社写真帖』と大差ないため、9代目伊藤平左衛門守道が、手がけたものであると想定される。以前吉川熊野神社旧拝殿の調査に来た魚津社寺工務店の方に連絡を取り調査時のことを聞いたところ、半月七社神社が、吉川より少し古い8代目伊藤平左衛門守富の手がけたものであるという情報を得た。こちらも、先ほどの写真帖の建物とよく似ており、委員のみなさまにご賛同いただければ、吉川熊野神社旧拝殿とあわせて候補表へ掲載し調査に向けて地元との調整など準備を行っていききたい。

■三山道中記

事務局) 6年度に予備調査を行うため、小野委員のご指導をお願いしたい。7年度に専門家に所見執筆を依頼したい。

■米田の常夜燈

事務局) 6 年度に当館学芸員にて調査し、7 年度に指定できればと考える。半月の常夜燈についても年代が近いので、指定に向けての委員の意見を伺いたい。

■蔵福寺阿弥陀三尊像

事務局) 見田委員のご指導をいただきながら、仏像指定の基準作りを行っていきたい。委員のご協力をお願いしたい。

■おもっそ

事務局) 文化財指定候補から除外したが、小早川委員のご指導をいただきながら、今後聞き取り調査を行う予定である。結果がまとまったらご報告する。

委員) 木の山の子安神社の祭礼は、大高の「おひかみさん(氷上姉子神社)」の影響を大きく受けている。木の山の山車の形状はおひかみさんとそっくりで、子安神社の祭礼には大高や長草と同様に猩々が登場する。

※大府市の石造物調査について

事務局) 会長より、石造物調査の必要性について、ご意見をいただいている。前回の調査は昭和末、大府市誌の編さんの頃で、その後、区画整理や開発、道路工事等で所在不明となっている石造物があると想像される。そろそろ所在確認を含めた調査をすべきではないかと考える。

委員) 前回の調査には自分も携わった。約 1 年かけて実施し、各地区の文化財保護委員 10 名ほどが予備調査に参加している。報告書として冊子にまとめたが、調査の際の詳細カードは残っていない。

委員) 過去の石造物調査報告書を手掛かりに、個人的に大府市の石造物を見て廻っているが、所在不明の石造物が多いのではないかと。八ツ屋神明社、一ツ屋の石造物が見当たらない。無量庵など寺院そのものが無くなっているところもある。一方で、新発見した石造物もあるので、改めて調査したほうがよい。

会長) 大府市の石造物調査にご協力いただける方は、協力をお願いしたい。

※新編大府市誌の編さんについて

事務局)

大府市誌の続編として、昭和末から令和初期を対象とした「平成編」を刊行する。同時に、大府市の歴史・伝統文化の調査、確認を進める。調査結果の編さん、公開方針は、編さん委員会で検討する。資料の保存、公開にあたっては、デジタル技術を活用し、市の歴史を市民の財産として共有したい。歴史民俗資料館に事務局を置き、体制を整備し、今年度より「平成編」の編さんに着手したい。

7. その他 事務局説明

貸館受付期間変更について、利用者の利便性を高めるため、一部の部屋の予約開始時期を前倒しした。

委員報酬について

県外視察研修については、行先を会長と検討し、決定次第お知らせする。